

文部科学省特別経費事業 広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 第四回シンポジウム開催

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 極限環境対応グローバル接合部門 特任准教授（専任）

平成 25 年度より、当研究所と本学言語文化研究科が主となり、文部科学省特別経費事業「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業」を実施しています。本事業は広域アジア地域における①大学・研究機関、企業とのネットワーク構築、②接合技術基盤の構築、③カップリング・インターンシップ（CIS）の実施（文理+海外連携大学融合型）を 3 本の柱として取り組んでいます。この一環として開催している本シンポジウムは今回第四回目となり、「『産学共創』によるグローバル人材育成～多様なカップリングから生まれる新たな可能性～」と題して 2017 年 3 月 6 日に本学中之島センターにて開催されました。

第三回までのシンポジウムにおいて実践的グローバル人材の育成の重要性が改めて確認されたことを受け、第四回は産学連携によるグローバル人材育成に着目しました。基調講演一人目は産業能率大学の平田譲二教授より、歴史的、地政学的に見た日系企業が持つ強みとそれを活かしたグローバル展開、グローバル展開時に日系企業が抱える人材に関する課題などについてご講演がありました。基調講演二人目は南洋理工大学キャリア・アタッチメントオフィス Loh Pui Wah 部長より、南洋理工大学で行われているキャリア形成支援及びその一環であるグローバルキャリア形成支援について具体的な状況及び取り組み方法のご講演があ

りました。グローバル化しか選択肢は無いとしたシンガポールにおける大学の取り組みは日本の大学にとっても大変参考になるものでした。第二部の事例紹介では、株式会社ダイヘンよりダイヘンのアジア圏への展開及び本学 CIS を受け入れた企業側からの感想などについて講演がありました。次に上智大学の鈴木隆教授より、上智大学で実施されているボルボグループとの産学連携講座及びインターンシップ活動について紹介がありました。一般社団法人九州日韓経済交流会専務理事及び麻布スリーエーコンサルティング合同会社代表業務執行役、鈴木重幸氏からは主に韓国におけるグローバル人材育成への政府の取り組み、K-Move についてご紹介頂き、その取り組みの中で九州県内の企業がどのように連携しているかをご紹介頂きました。また、最後の講演として筆者からは本学カップリング・インターンシップにおける産学連携について整理、分析した内容を講演しました。

グローバル人材育成に係る産学連携と一言で言っても、多様な取り組みがあり、それぞれが産と学の強みを持ちより、しかし違う方法で、また異なる効果をもたらすものであることが分かりました。その中でも、どのような連携が効率的かつ学生にとって効果的で、また Win-Win をもたらすかについては、今後も引き続き産と学が対話する中で模索が期待されます。



本事業、田中 学センター長



南洋理工大学 Loh PuiWah 氏